

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12036

ユネスコ活動推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	生涯学習振興費		
	大事業	生涯学習振興事業		
中事業	ユネスコ活動推進事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 生涯学習課 松下 行男 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	和歌山ユネスコ協会の活動の推進を図るとともに、多くの市民にユネスコ精神を広く普及させる。		ユネスコ活動を展開させることによりユネスコ精神の普及に努め、協会組織の強化を図る事業に対して補助を行う。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	ユネスコ活動の支援 (平和の鐘打鐘会の開催、書き損じハガキキャンペーンの実施等)	ユネスコ活動の支援 (平和の鐘打鐘会の開催、書き損じハガキキャンペーンの実施等)	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	49	45	56	45	49	45	49	0	49	0
伸び率(%)	△2%	△10%	14.3%	0%	△12.5%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	718	718	880	880	967	967	564	0	564
	正規職員以外	999	999	1,712	3,264	473	572	1,948	0	1,948
	小計	1,717	1,717	2,592	4,144	1,440	1,539	2,512	0	2,512
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	49	45	56	45	49	45	49	0	49	0
所要人数(人)	正規職員	0.09	0.09	0.11	0.11	0.12	0.12	0.07	0.00	0.07
	正規職員以外	0.40	0.40	0.69	0.66	0.19	0.23	0.38	0.00	0.38
主な予算内訳	ユネスコ運営補助金 45千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
会員数		人	目標値	100	100	100	70	70
			実績値	64	61	60		
			達成度(%)	64%	61%	60%	%	%
新規会員数		人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	1	3	1		
			達成度(%)	10%	30%	10%	%	%
平和の鐘打鐘会参加者数		人	目標値	1300	1300	1300	1300	1300
			実績値	1396	1029	0		
			達成度(%)	107.4%	79.2%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ユネスコ精神の普及に努めるとともに、協会組織の強化を図る。
見直し・改善内容	会員の高齢化が大きな課題である。若年層への加入の呼びかけに努めたい。